

新聞の仕組みや記者の仕事の仕事を学ぶ安謝小5年の児童ら  
18日、那覇市の安謝小学校



## 5W1Hで文上手に

## 友だちの週末取材 安謝小5年生



琉球新報記者による出前講座「おでかけりゅうPON」が18日、那覇市立安謝小学校(棚原憲一校長)

で開かれ、5年生の児童93人が参加した。児童らは新聞の仕組みや記事の書き方を学んだ後、2人1組で取材し合い、記者の仕事体験した。

講座では実際に新聞をめぐりながら「見出し」「リード」など情報を分かりやすく伝える工夫や「いつ」「どこで」「だれが」とい

った5W1Hなど記事の書き方を学んだ。その後子どもたちは、習ったことに注意しながら、友達同士で週末の出来事取材し、記事を書き上げた。

五十嵐君は「記事の書き方が参考になったので、

日記を書くときに使ってみたい」と話し、玉那覇希帆さんは「記事を書くとき、5W1Hなど少しの工夫で文が上手になって驚いた」と声を弾ませた。

りゅうちゃん号も出勤し、講座の様子をまとめた速報を配布。講師はNIE推進室の佐藤ひろこ記者と金城綾乃記者が務めた。